

令和8年7月22日

宗像市議会

議長 岡本 陽子 様

予算第2特別委員会

委員長 石松 修

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第43号議案 令和8年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について

収益的収入及び支出において、支出を537万2,000円減額し、支出総額を28億5,176万7,000円とする。資本的収入及び支出において、支出を5,909万円増額し、支出総額を12億3,921万9,000円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 カーボンニュートラル地域モデル処理場計画に基づき、令和8年度からの宗像終末処理場の再構築に係る基本設計業務を委託するため、資本的支出において建設改良費を増額する。
- 2 基本設計では、施設配置、工事手順計画、詳細な概算費用の算出及びスケジュール等を作成する。なお、業務委託先は日本下水道事業団を予定している。
- 3 再構築に係る総事業費として約160億円を見込んでおり、企業債を財源とする予定である。再構築に伴い、支払利息及び減価償却費の増加が見込まれるが、現時点で使用料へ反映する予定はなく、今後の経営戦略の中間見直しの中で使用料の改定についても精査していく。

【意見】

（賛成意見）

- ・下水道施設の更新は、下水道機能を維持するために不可欠である。将来にわたっての市民負担なども考慮し、財源の確保に努めながら、一般会計からの繰入れについてはバランスも慎重に協議してほしい。また、定期的に議会に対する進捗報告を要望する。
- ・今後、一地方公共団体が将来にわたって大規模なインフラ施設を維持していくのは困難であると考えため、国に対して積極的に補助や支援を求めてほしい。
- ・下水道事業は、市民の命と暮らしにとって欠かせない重要な事業であるからこそ、施設の維持更新に係る費用を一気に使用料へ転嫁して市民生活を圧迫しないよう、一般会計からの繰入れも検討した上での対応を要望する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。